

受験番号	
------	--

日本赤十字秋田看護大学大学院
看護学研究科看護学専攻修士課程

令和6年度 I 期 入学試験問題

〔科 目 試 験〕

成育看護学 助産学

【注意事項】

- 1 制限時間は 60 分です。
- 2 問題文は、表紙を含めて全部で 4 ページあります。
- 3 受験番号は、この表紙と解答用紙の全てに記載してください。
- 4 質問があるときは、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答用紙および問題文とも、持ち帰ってはいけません。

【問題 1】 次の文章を読み、正しいものには○、誤っているものには×を記入しなさい。

- 1) 総合周産期母子医療センターは母体・胎児集中治療室を併設している ○
- 2) リプロダクティブヘルスの基本的要素のひとつに「すべての女性にとって安全な職業が提供される」というものがある ×「すべての女性にとって安全な妊娠と出産ができる」
- 3) 更年期とは閉経後およそ 5 年間の時期を言う ×前後 5 年間
- 4) 月経周期およそ 25～38 日の範囲で個人差があるが、変動が±6 日以内であれば正常と考えられている。 ○
- 5) 染色体異常や重症な遺伝病罹患のリスクが高くても、出生前診断を受けない自由がある ○
- 6) 妊産婦死亡率は次の式で求められる
$$\frac{1 \text{ 年間の妊産婦死亡数}}{1 \text{ 年間の生児の出産数}} \times 100,00$$
× 1 年間の生児の出産数→1 年間の出産数（出生数＋妊娠満 12 週以降の死産数）
- 7) 子宮頸がんの好発年齢は 60 歳代である × 30-40
- 8) 女性の体温はプロゲステロンの影響を受け上昇する ○
- 9) 正常なヒトの染色体は 42 本あり、そのうちの 2 本は性染色体である ×46 本
- 10) 思春期におこる機能性月経困難症が多い。 ○
- 11) 受精は子宮底で行われ着床する。 ×卵管膨大部
- 12) 妊娠しても流産・早産を繰り返し生児を得られない場合を不育症という ○
- 13) 精子に異常が認められた場合、最初に行う治療は体外受精である ×（手術療法・人工授精・薬物療法・ホルモン療法）
- 14) 正期産とは妊娠 37 週 0 日から 40 週 6 日未満までの間の分娩を言う ×41 週 6 日
- 15) 胎児の縦軸と子宮の縦軸との関係を胎向という ×胎位
- 16) 妊娠 24 週～35 週までの妊婦健康診査は 2 週間に 1 回行うことが推奨されている。 ○
- 17) 授乳期の女性のたんぱく質の摂取付加は 1 日あたり 20g とされている ○
- 18) 分娩第一期前半の陣痛を前駆陣痛という ×
- 19) 羊水量が 500ml を超えるものを羊水過多という ×800ml
- 20) 胎盤は妊娠 16 週までには完成する ○

【問題 2】 次の文章を読み、() に適切な語句を記入しなさい。

- 1) 胎児の血液中のガス交換は(胎盤)で行われる。酸素化された血液は(臍静脈)を通して胎児に入り、胎児に特有な(アランチウス静脈管)を通して下大静脈に流入する。一方下大静脈と上大静脈から右心房に入った血液の多くは、肺動脈と大動脈弓をつなぐ(ボタロー管)を経て下肢や内臓に送られる。
- 2) 胎盤は妊娠の維持に必要なホルモンである(ヒト絨毛性ゴナドトロピン：hCG)を分泌し、妊娠初期に分泌量は激増する。胎盤は妊娠後期には重さおよそ(500)gとなり、(胎児)の重さと比例関係にある。
- 3) 産後乳房のはりや緊張が生じた場合、乳房緊満・乳管閉塞、乳腺炎の鑑別を行う。
(乳房緊満)は血液やリンパが乳腺やその周囲の組織に増加することでおこり、両側に熱感や圧痛を伴うことが多い。(乳管閉塞)は必ずしも両方の乳房に同時に起こるとは限らず、限局性・片側性のことがある。(乳腺炎)の痛みは強く限局性、通常は片側性である。

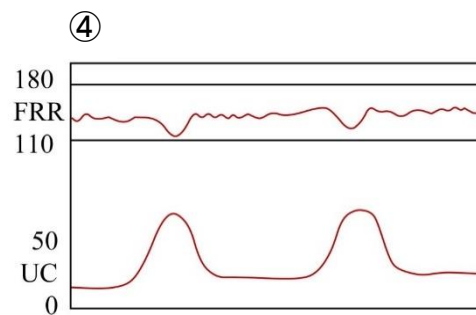
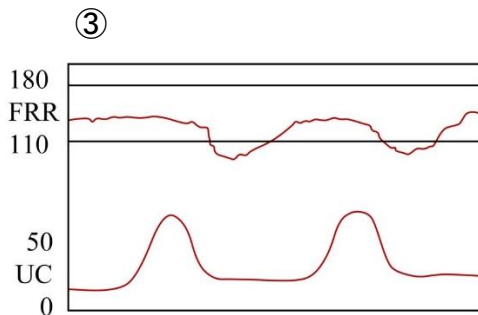
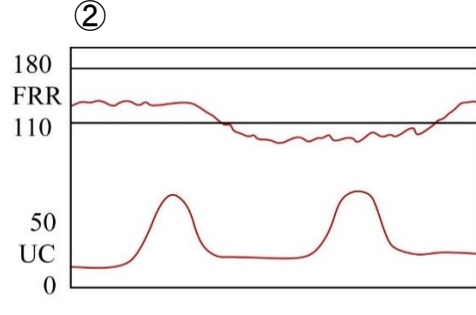
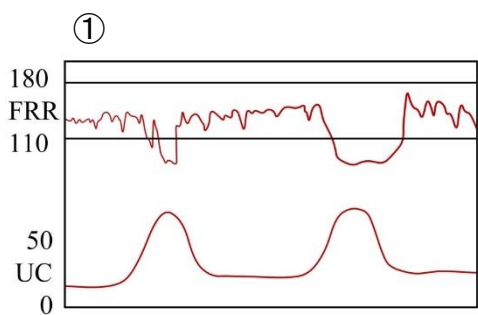
【問題 3】 ①～⑤の法律について正しく対応している内容はどれか。a～eの中から一つ選びなさい。

- ① 母子保健法
- ② 育児休業・介護休業法
- ③ 労働基準法
- ④ 母体保護法
- ⑤ 児童福祉法

- a 深夜業の制限に関すること
- b 子育て支援事業に関すること
- c 産後 8 週間を経過しない女性を就業させてはならないこと
- d 保健指導を要する者について医師、助産師等に訪問させ、必要な指導を行わせること
- e 医師の認定による人工妊娠中絶に関すること

- | | |
|--------------|--|
| ① 母子保健法 | d 保健指導を要する者について医師、助産師等に訪問させ、必要な指導を行わせること |
| ② 育児休業・介護休業法 | a 深夜業の制限に関すること |
| ③ 労働基準法 | c 産後 8 週間を経過しない女性を就業させてはならないこと |
| ④ 母体保護法 | e 医師の認定による人工妊娠中絶に関すること |
| ⑤ 児童福祉法 | b 子育て支援事業に関すること |

【問題 4】 臍帯圧迫が生じている可能性がある胎児心拍数モニタリング所見はどれか。①～④の中から一つ選びなさい。



①

【問題 5】 この新生児の生後 4 日目の体重減少率はいくらか記入しなさい。
(小数点第三位四捨五入)

出生時	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目
3380g	3200g	3195g	3190g	3100g

8%

【問題 6】 次はある新生児の生後 1 分時点での所見である。
1 分後のアプガールスコアは何点か記入しなさい。

心拍数 98 回、 四肢をやや屈曲 強い啼泣 四肢にチアノーゼ

【問題 7】 胎児、新生児の呼吸に関わる説明で誤っているものはどれか。

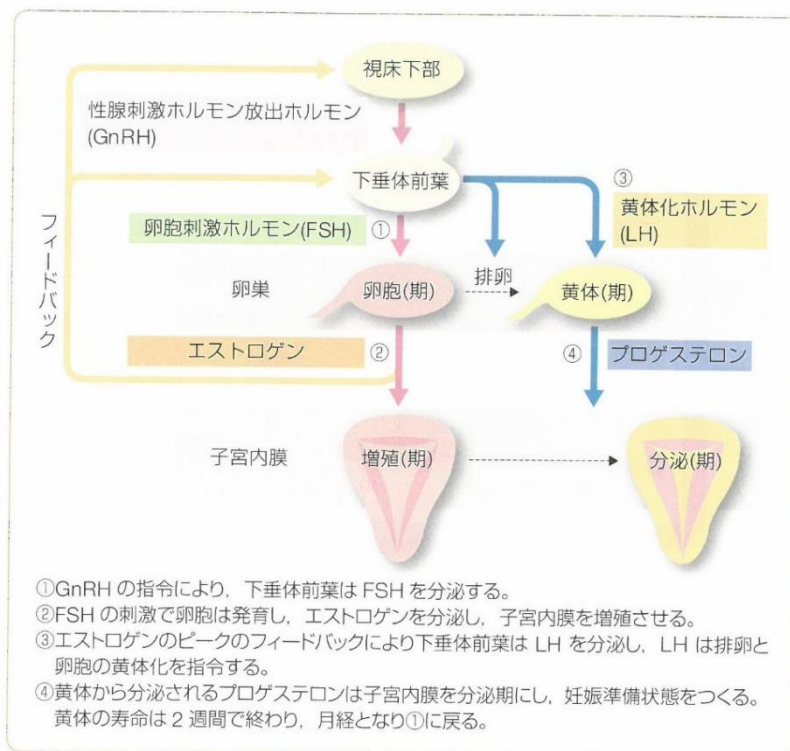
①～④の中から一つ選びなさい。 ②

- ① 胎児の肺胞の構造は妊娠 24 週ごろ完成する
- ② 肺サーファクタントは、呼気時の肺胞が虚脱することを促す
- ③ 肺サーファクタントは妊娠 33～36 週ごろ十分に分泌されるようになる
- ④ 新生児の呼吸数はおよそ 1 分間に 40～50 回である

【問題 8】 性周期における変化「月経周期の調節機序」について次の問いに答えなさい。

①月経周期の調節機序を説明しなさい。説明の際、ホルモン名・分泌される部位・作用を記述すること。図示しても良いが説明を加えること。

ホルモン名・分泌される部位
作用
機序



▶ 図 3-7 月経周期の調節機序

説明例

視床下部から性腺刺激ホルモンの放出を促すホルモン(GnRH)の分泌が増加し、この刺激により下垂体から卵胞刺激ホルモン(FSH)の分泌が始まる。

卵巣で1個の卵胞が発育し、成熟にともない卵胞から卵胞ホルモン(FH)の分泌が増加する。

この卵胞ホルモンによって、子宮内膜は増殖し厚くなる。

卵胞ホルモン量がピークに達すると、下垂体から黄体化ホルモン(LH)が一時的に大量に放出され、卵子が卵胞から腹腔へ放出される。これを排卵と呼ぶ。

排卵を終えた卵胞は黄体に変化し、黄体ホルモンが分泌され子宮内膜から粘液が分泌され、受精卵の着床に適した状態となる。

着床が起こらず、排卵後約2週間過ぎると、黄体は白体となり消失する。同時に卵胞ホルモン、黄体ホルモンが減少し、厚くなっていた子宮内膜の表面がはがれ落ち、出血する(月経)。

② 受精卵着床後、絨毛から分泌されるホルモンを3つ記述しなさい。

エストロゲン プロゲステロン hCG